

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2000-347617 (P2000-347617A)

【公開日】平成 12 年 12 月 15 日 (2000.12.15)

【出願番号】特願 平 11-157808

【国際特許分類第 7 版】

G 0 9 G 3/20

G 0 2 F 1/133

G 0 2 F 1/1343

G 0 9 F 9/30

G 0 9 G 3/36

H 0 4 N 5/66

// G 0 9 F 9/00

【F I】

G 0 9 G 3/20 6 4 1 G

G 0 9 G 3/20 6 4 1 A

G 0 9 G 3/20 6 4 1 C

G 0 9 G 3/20 6 4 1 E

G 0 9 G 3/20 6 4 1 K

G 0 9 G 3/20 6 4 1 P

G 0 2 F 1/133 5 0 5

G 0 2 F 1/1343

G 0 9 F 9/30 3 9 0 Z

G 0 9 G 3/36

H 0 4 N 5/66 A

H 0 4 N 5/66 1 0 2 B

G 0 9 F 9/00 3 6 2

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 27 日 (2005.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

例えば、強度変調による画素の輝度表示の場合、図 3 に示すように、画像データ変換部 1 2 は、画像データから表示画面 1 0 の表示可能なビット数の輝度値に変換し、略均等に分散された輝度値を作成する階調変換処理部 1 4 と、得られた輝度値に従って、輝度値の強度を設定する各々の画素 p_1 、 p_2 および p_3 に対応した強度変調部 1 6 a、1 6 b および 1 6 c とを有する。

図中では、単位画素 P に対する画像データ変換部 1 2 であって、画素単位毎に図 3 に示すような画像データ変換部 1 2 を複数有する。また、画像データ変換部 1 2 では、上述した画像データに応じて表示画面 1 0 の表示画素数の範囲内に入るように施される画像密度変換処理について省略されている。